マニュアル番号 ME-1422
改-1

新日軽

ユーロフォルム 組立施工マニュアル

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

施工上の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

①モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれていますから、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。

②モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中にアルミの表面に流れない様にご注意してください。

③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、硅酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。

④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。

⑤アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施行上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

⑦寒冷地では柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てますと、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。

⑧養生期間は十分（5日以上）とってください。養生中は動くことの無いようにご注意ください。

⑨みだりに改造しないでください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	意味
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意 ご使用上の注意とお願い（お施主様へ）

- 本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 郵便ポストの付いているタイプでは、このポストの上には乗らないでください。
  変形したり、使用上に支障をきたす場合があります。
- ポストの投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
- 投函物を取り出す際は、手や指に注意してください。
- 年に1回、ネジやボルトの緩みがないか、確認してください。
- 本商品の付近で絶対にたき火などをしないでください。

❗ 要注意 施工上のご注意（施工店様へ）

- **結線は、必ず電気工事店様が行ってください。**
- **照明とインターホンをどちらもご使用いただく時は、隔壁となる配管を設けてください。**
- **配線は、あらかじめG.Lより1.5m位立ち上げておいてください。**
- **インターホン子機と親機は、同一メーカーをご使用ください。(子機はJIS1個用スイッチボックス対応品)**
- **各ボルトビス類は確実に締付けてください。**

梱包部品リスト(拾い出し)

●開梱時に下記の品物がそろっているか確認してください。
万一欠品などございましたら、お買い上げの販売店・最寄りの当社営業所までお申しつけください。

拾い出し表と梱包内容

表内の数字は個数を表わしています。
①はどちらか1個を拾い出してください。

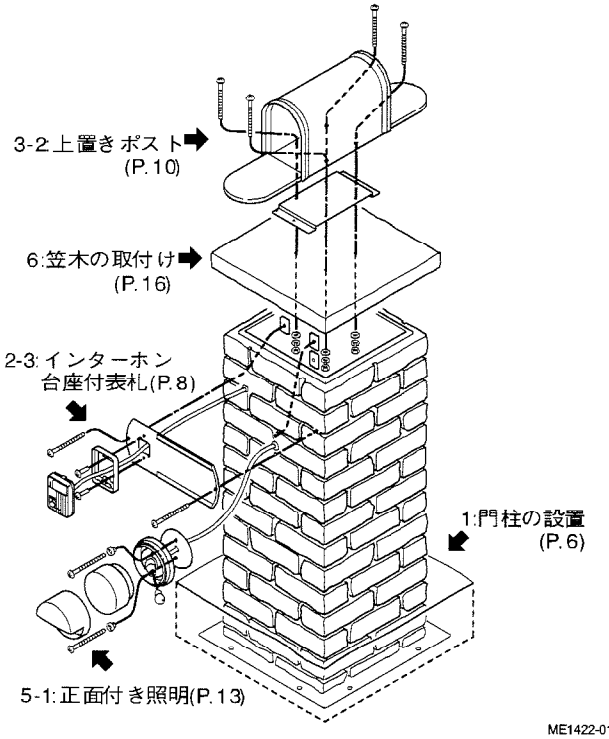
製品名称		A 正面付き照明 インターホン台座付表札 上置きポスト	B 上置き照明 インターホン台座付表札 横付けポスト	C 上置き照明 サインプレイツ 横付けポスト 直付けインターホン	D 正面付き照明 正面付け表札 上置きポスト 横付けインターホン	梱包内容	備考
門柱	コバ積み調	①				門柱本体(1)・笠木(1) 部品取付ビスM4X50Lトラス3種(8)・ネジ持ち(8) シール材(1)・組立施工マニュアル(1)	※1
	レンガ調		1	1	1		
表札	正面付け表札					正面付け表札(1)・表札シール(1) 部品取付ビスM4X50Lトラス3種(2)・ネジ持ち(2)	
	インターホン台座付表札	1	1			インターホン台座付表札(1)・表札シール(1) 部品取付ビスM4X50Lトラス3種(2)・ネジ持ち(2) インターホン取付ビス(2)	※2
	サインプレイツD型			①		サインプレイツ(1)・表札シール(1)・ネジ持ち(2) 部品取付ビスM4X14Lトラス3種(2) ただし、この部品取付ビスは使用しないでください。	
	サインプレイツE型						
ポスト	上置きポストブラケット	1			1	ポストブラケット(1)・部品取付ビスM5X50Lトラス3種(4) M5用平座金/ばね座金/ナット(各4)	
	横付けポストブラケット		1	1		ポストブラケット(1)・部品取付ビスM5X12Lトラス3種(4) M5用平座金/ばね座金/ナット(各4) フック(2)・フック取付ネジM4X12Lトラス3種(4) 部品取付ビスM4X50Lトラス3種(4)・ネジ持ち(4)	
	BA14型	1	1	1	1	ポスト(1)・取付マニュアル(1)	
照明	LM5 型		1	1		照明本体(1)・絶縁ブラケット(2)・取付マニュアル(1) 部品取付ビス φ3.8X50L木ビス(2) ただし、照明取付にこの木ビスは使用しないでください。	
	LB3 型	1			1		
ｲﾝﾀｰﾎﾝ台座	インターホン台座B				1	台座(1)・取付蓋(1)・台座裏蓋(1) 部品取付ビスM4X14Lトラス3種(8)・ネジ持ち(2) 取付マニュアル(1)	※2 ※3
ｵﾌﾟｼｮﾝ	アンカーボルトセット	(1)	(1)	(1)	(1)	フックボルト(8)	※4

※1：コバ積み調には、横付けポストとサインプレイツD・E型横付けインターホンを取付けることはできません。
※2：インターホンは「JIS1個用スイッチボックス対応品(露出型)」の市販品を別途現場手配してください。
※3：H=300には、横付けインターホンを取付けることはできません。
※4：インターロッキング納まり時には、アンカーボルトセットを拾い出してください。

外観図

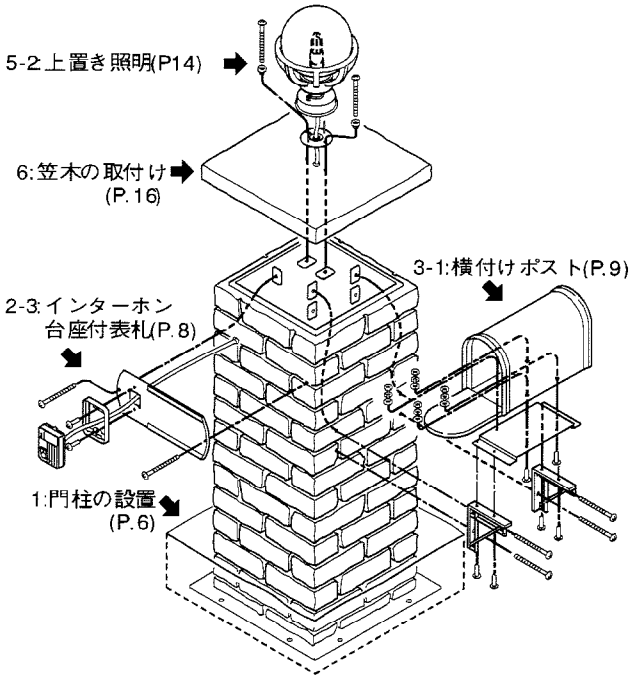
※(　　)内は取付けの説明ページを表わしています。

A：正面付き照明(LB3型)
インターホン台座付表札
上置きポスト



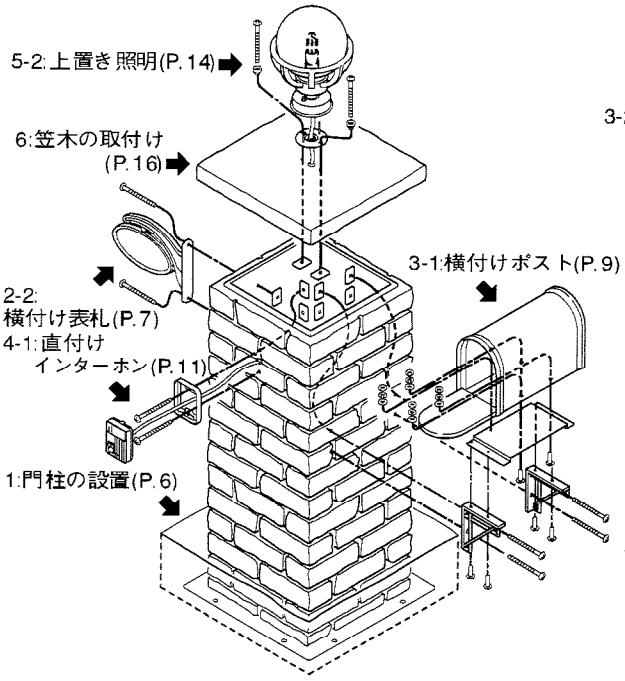
ME1422-01

B：上置き照明(LM5型)
インターホン台座付表札
横付けポスト



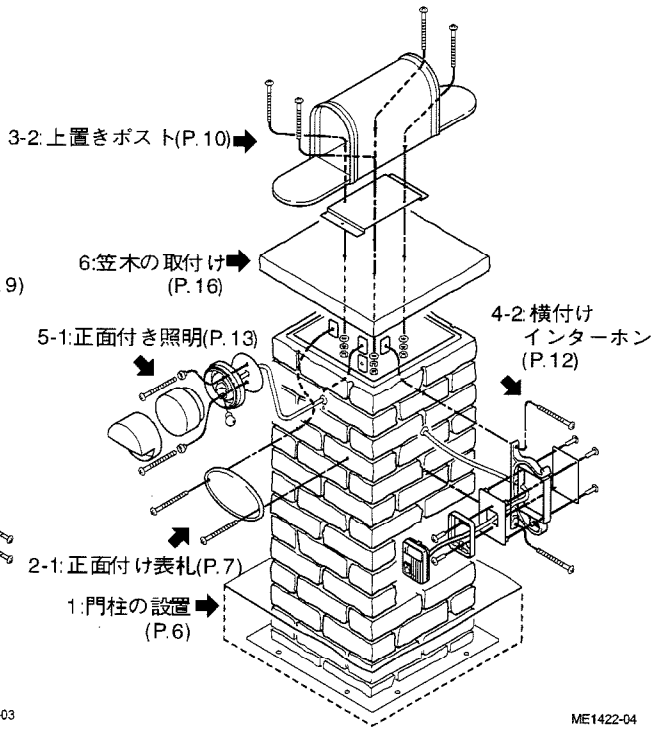
ME1422-02

C：上置き照明(LM5型)
サインプレイツ
横付けポスト
直付けインターホン



ME1422-03

D：正面付き照明(LB3型)
正面付け表札
上置きポスト
横付けインターホン



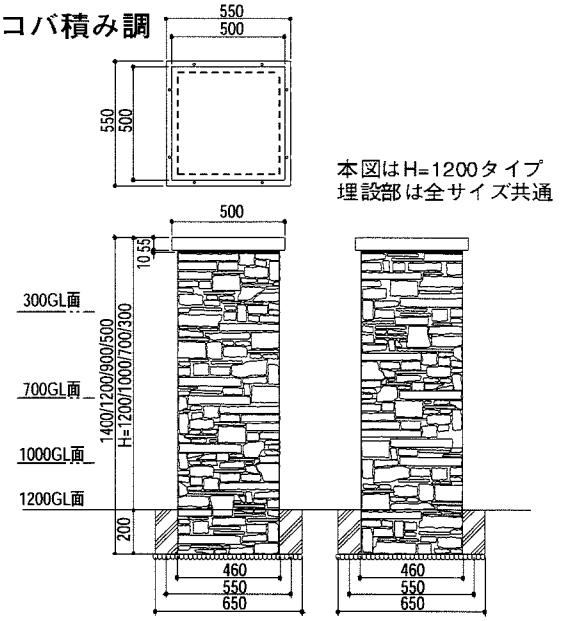
ME1422-04

納まり図

●下記納まり図には、別売部品は取付いていません。

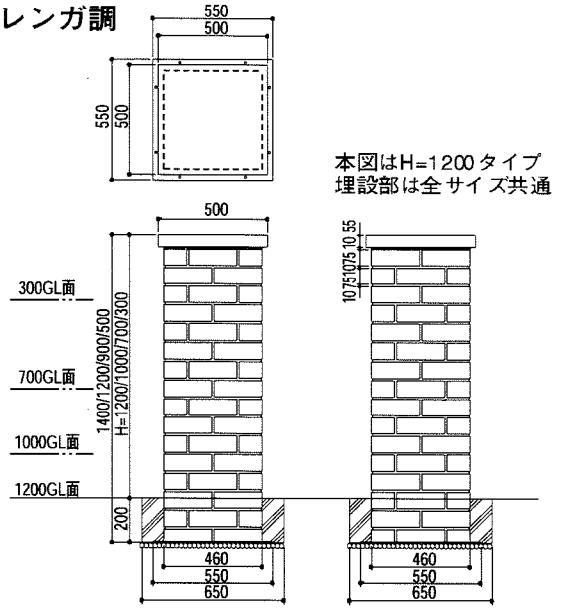
標準納まり図

●コバ積み調



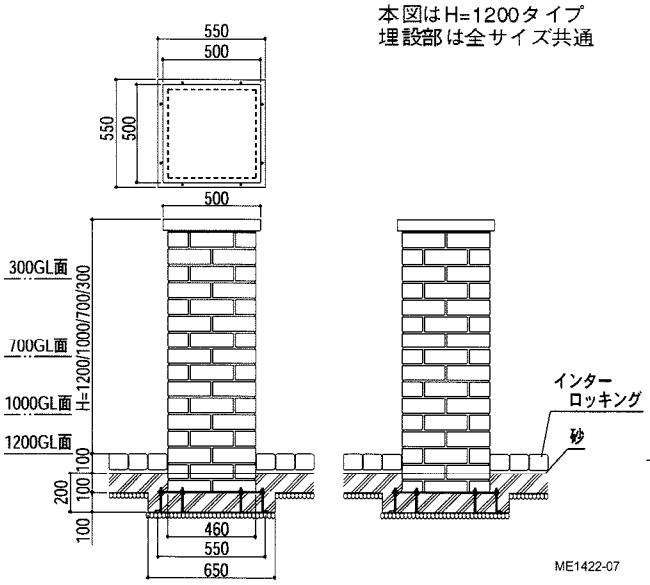
ME1422-05

●レンガ調



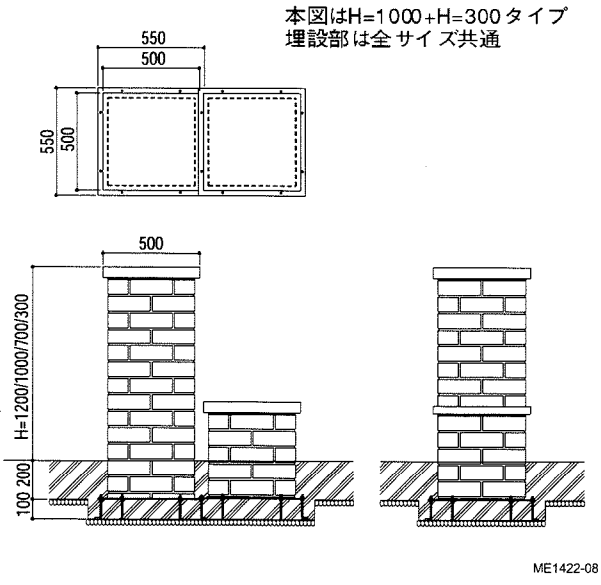
ME1422-06

インターロッキング納まり図



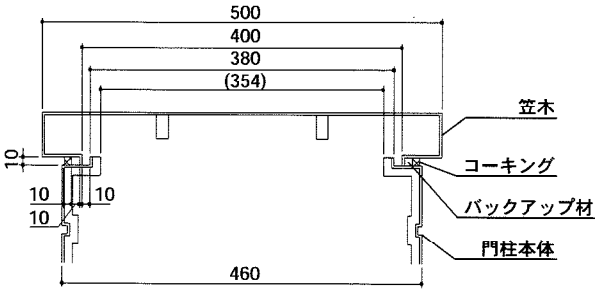
ME1422-07

連棟納まり図



ME1422-08

笠木部詳細図



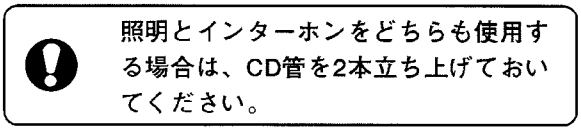
ME1422-09

施工の要点と注意事項

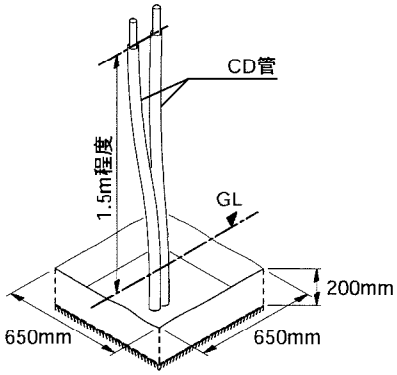
●施工前に必ず読んでください。

配線について

● 施工前に、配線をGLより1.5m程度立ち上げておいてください。



照明とインターホンをどちらも使用する場合は、CD管を2本立ち上げておいてください。

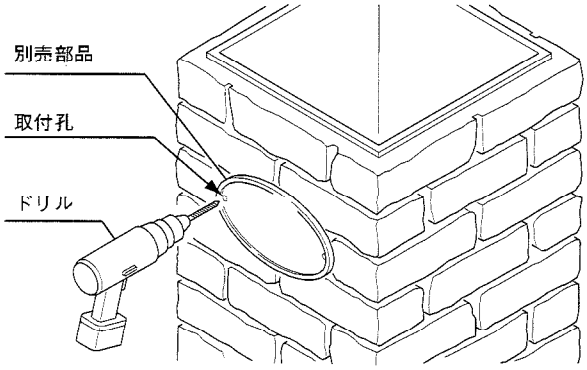


ME1422-10

別売部品の取付け

取付位置について

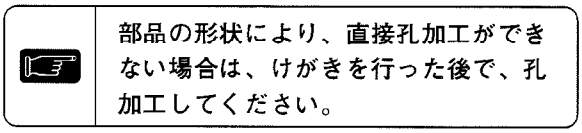
● 別売部品は任意の位置に取付けることができます。
● 門柱本体と笠木の表面には凹凸があります。
部品をできるだけ平らな位置に取りつけてください。



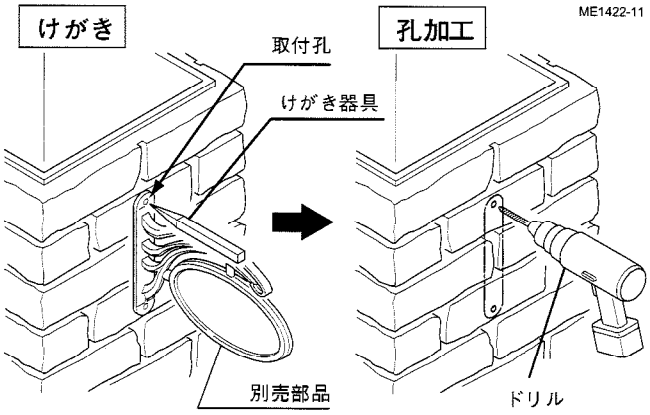
ME1422-11

施工要領

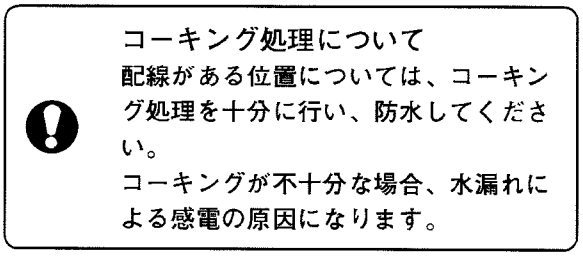
● 門柱本体と笠木には取付孔がありません。
各部品の取付孔を利用して、現場にて孔加工してください。
● 各項目で孔径寸法を指示しています。必ず指定の孔径寸法を守ってください。
孔径が大きすぎると、取付部品がぐらつき、破損や落下の原因となります。



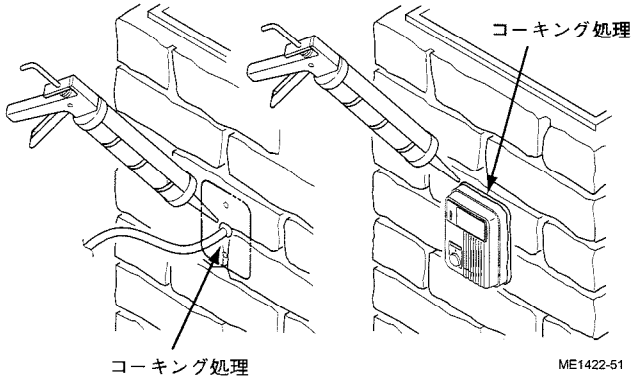
部品の形状により、直接孔加工ができない場合は、けがきを行った後で、孔加工してください。



ME1422-12



コーキング処理について
配線がある位置については、コーキング処理を十分に行い、防水してください。
コーキングが不十分な場合、水漏れによる感電の原因になります。



ME1422-51

1 門柱の設置

●「納まり図」より巾や高さ寸法を確認してください。

4ページの「納まり図」を参考に、門柱本体をコンクリートで固定してください。

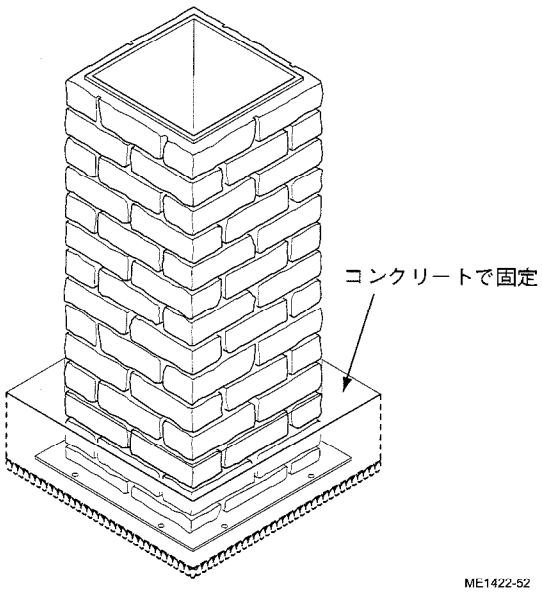
⚠注意

門柱のレベル合わせ(垂直)を正確に行ってください。

● 右図は標準納まり図です。
インターロッキングおよび連棟の場合は、フックボルトを使用し、埋込みを深くしてください。
(4ページの「納まり図」を参照してください。)

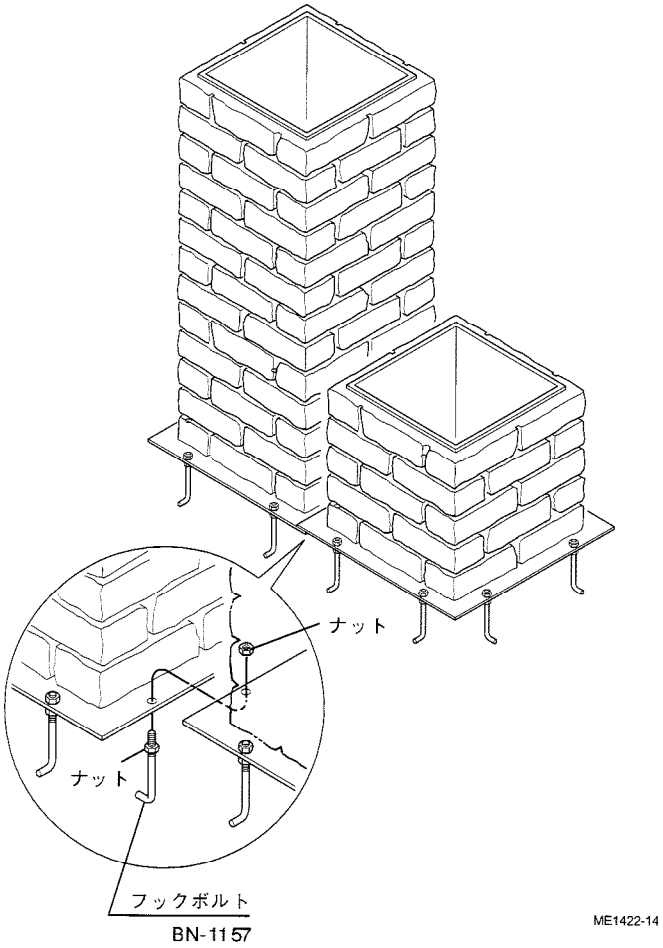
笠木の取付けは、別売部品を取付けた後で行なってください。
笠木を取付けると、別売部品を取付けることができません。

笠木の取付けについては16ページ「6. 笠木の取付け」で説明しています。



連棟の場合

フックボルトで門柱を連結し、コンクリートで固定してください。



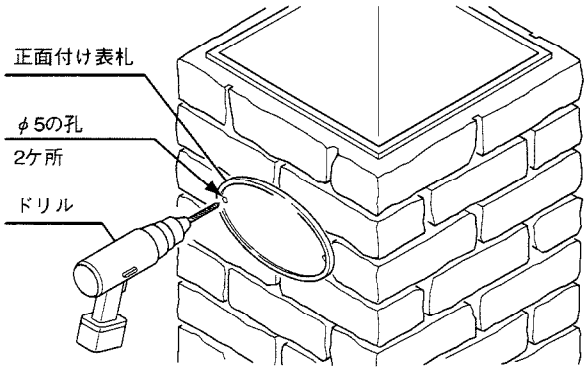
2 表札の取付け

●表札を門柱本体に取付けてください。
●部品を取付ける前に、表札シールを貼り付けてください。

2−1 正面付け表札

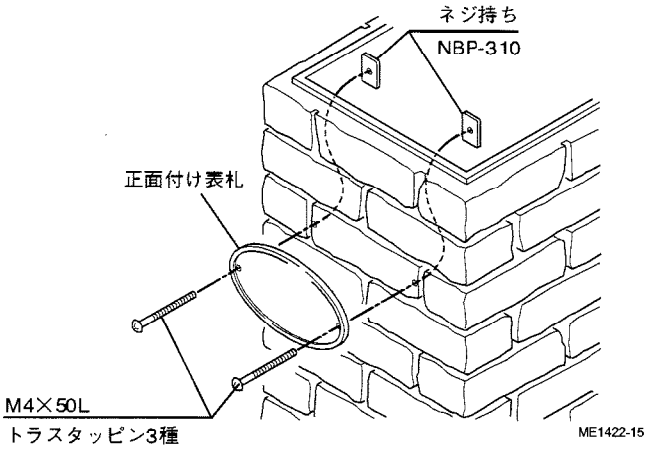
○	コバ積み調	○	レンガ調

①表札の取付孔を利用して、門柱本体にφ5の孔を2ケ所あけてください。



ME1422-13

②ネジ持ちを使用して、表札を門柱本体に取付けてください。



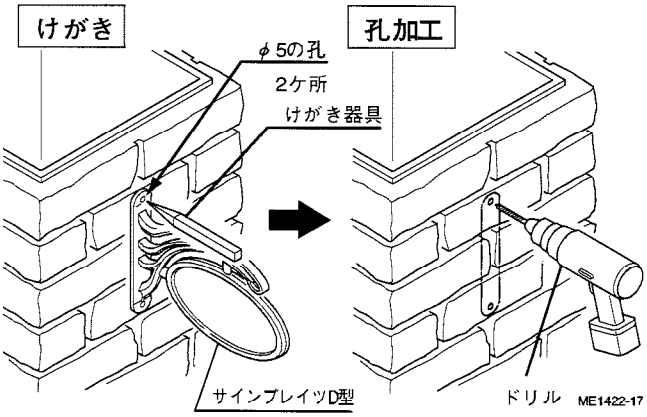
ME1422-15

2−2 横付け表札

×	コバ積み調	○	レンガ調

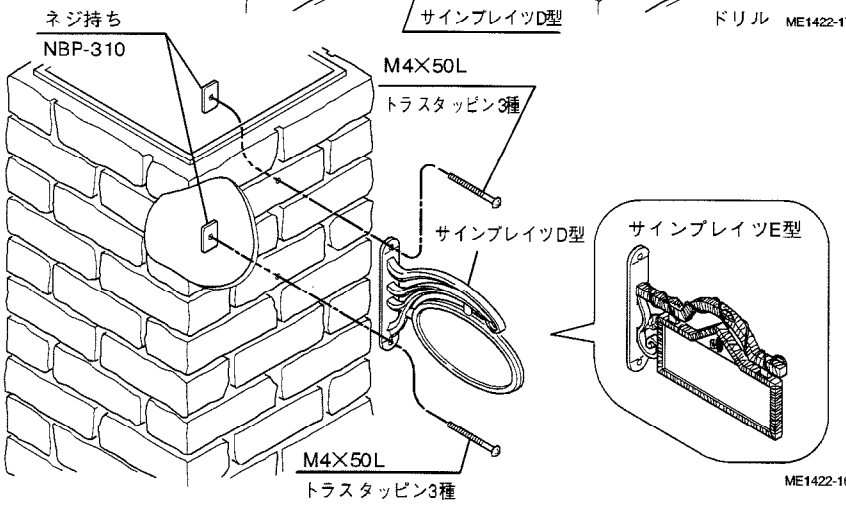
●サインプレイツD型・E型

①表札の取付孔を利用して、門柱本体にφ5の孔を2ケ所あけてください。



ME1422-17

②ネジ持ちを使用して、表札を門柱本体に取付けてください。



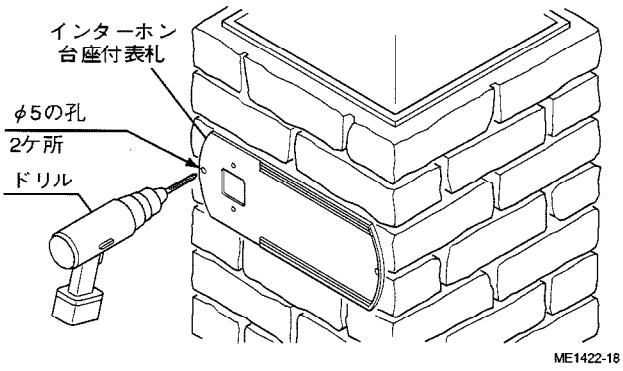
ME1422-16

2−3 インターホン台座付表札

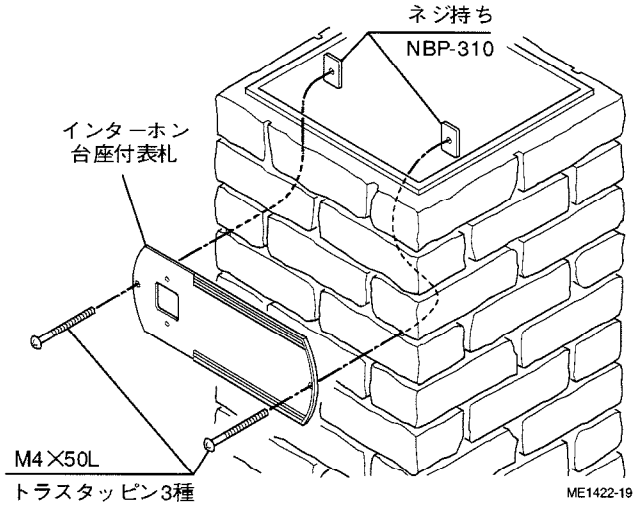
○	コバ積み調	○	レンガ調

「JIS1個用スイッチボックス対応品(露出型)」のインターホン(市販品)を現場手配してください。

①表札の取付孔を利用して、門柱本体にφ5の孔を2ケ所あけてください。

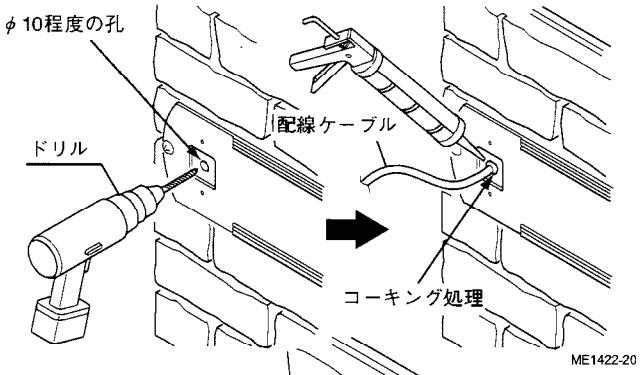


②ネジ持ちを使用して、表札を門柱本体に取付けてください。



③表札取付け後、右図の位置にφ10程度の配線用孔をあけて、配線ケーブルを引出してください。

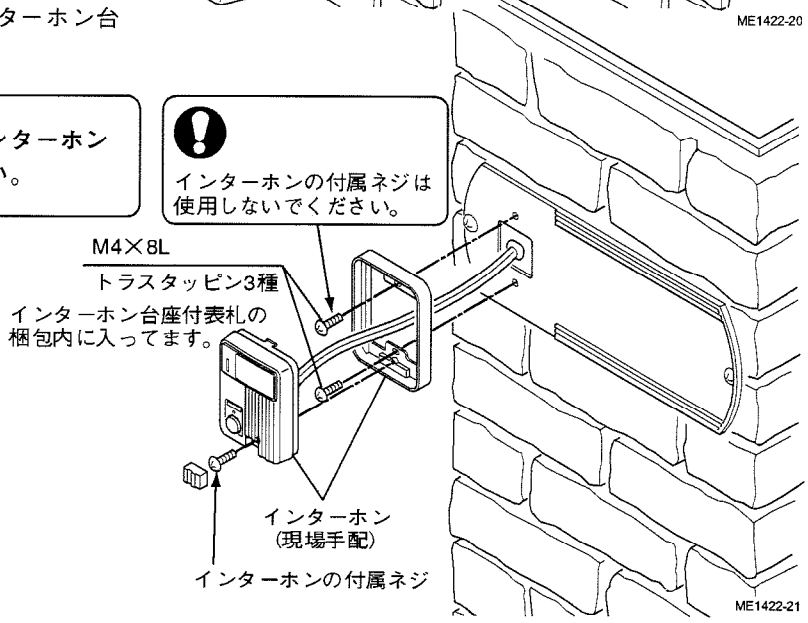
④配線用孔に十分コーキング処理を行ってください。



⑤インターホン子機(現場手配)をインターホン台座に取付け、結線してください。

結線についての詳細は、インターホンの説明書を参照してください。

インターホンの付属ネジは使用しないでください。



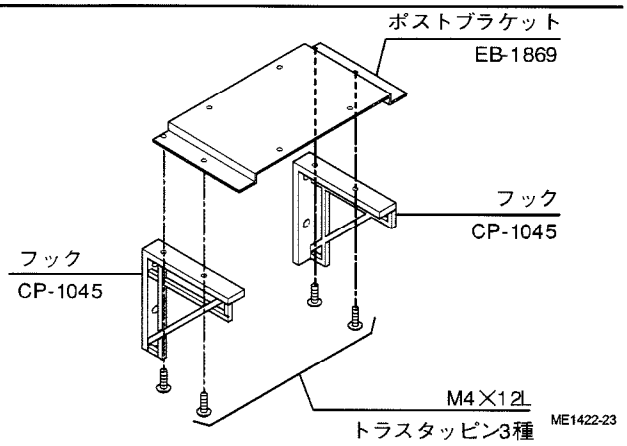
3 ポストの取付け

●横付けポストの場合は、門柱本体に取付けてください。
●上置きポストの場合は、笠木に取付けてください。

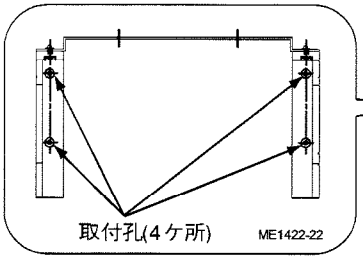
3−1 横付けポスト

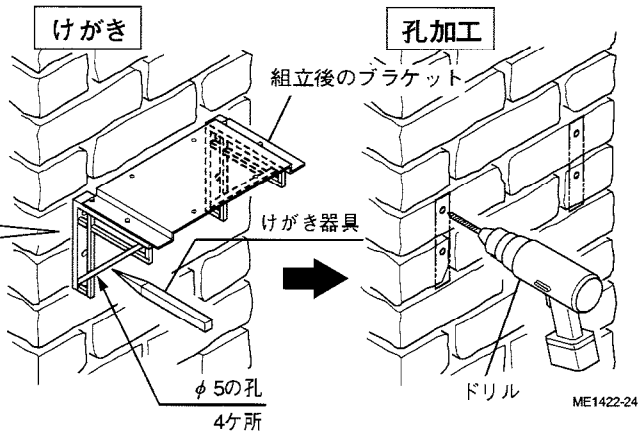
×	コバ積み調	○	レンガ調

①フックとポストブラケットを組立ててください。

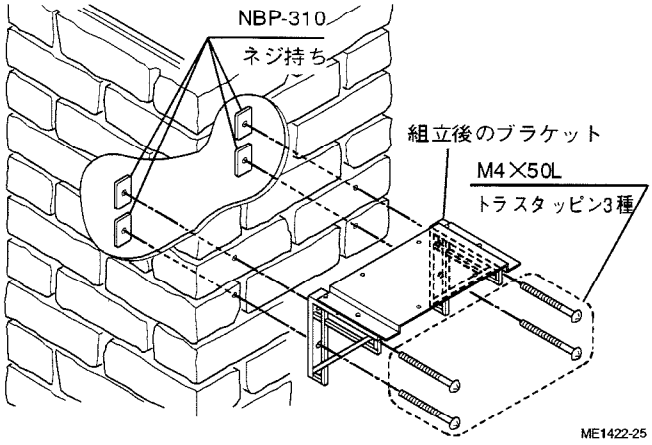


②組立て後、フックの取付孔を利用して、門柱本体にφ5の孔を4ケ所あけてください。

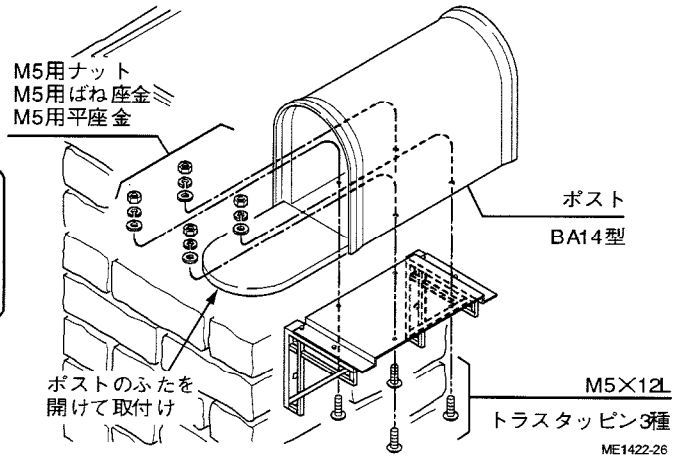




③ネジ持ちを使用して、ブラケットを門柱本体に取付けてください。



④ポストをブラケットの上に取付けてください。



⚠注意

ポストは開閉により振動しますので、ナットを確実に締付けてください。

3−2 上置きポスト

○	コバ積み調	○	レンガ調

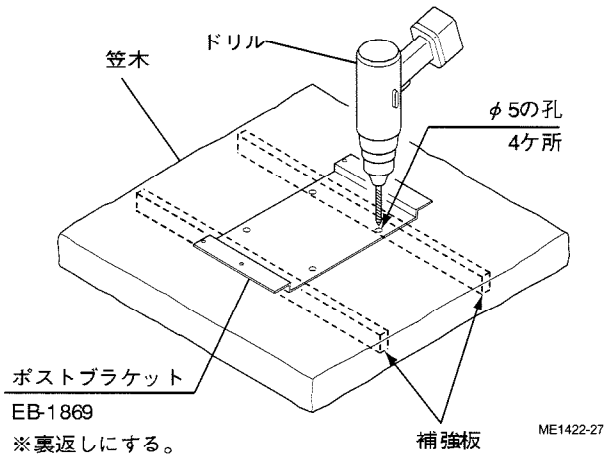
上置きポストは笠木に取付けます。

①ポストブラケットの孔を利用して、笠木にφ5の孔を4ケ所あけてください。

右図を参考に、ポストブラケットを裏返して、孔加工してください。

⚠注意

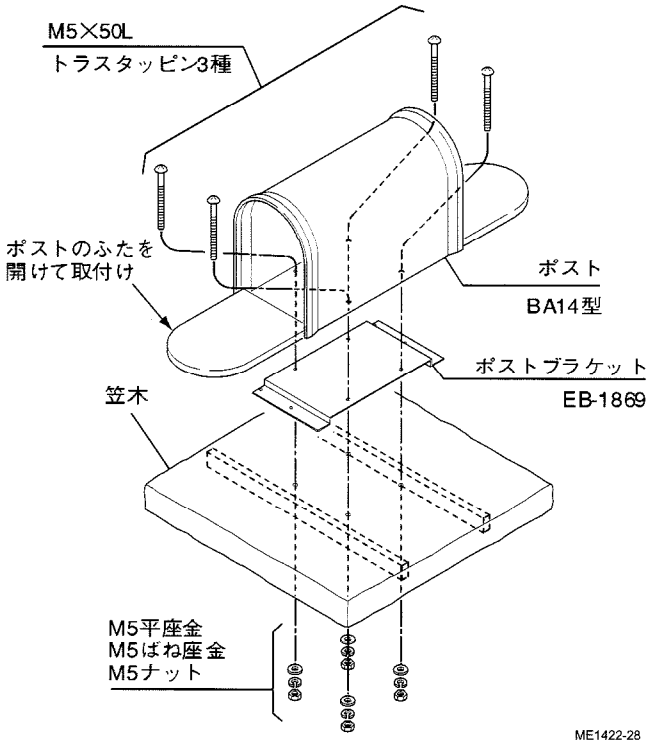
笠木の内部には補強板があります。
この補強板を避けて孔加工してください。



②ポスト、ポストブラケットおよび笠木を共締めにしてください。

⚠注意

ポストは開閉により振動しますので、ナットを確実に締付けてください。



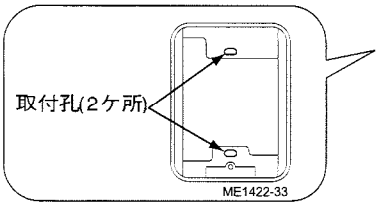
4 インターホンの取付け

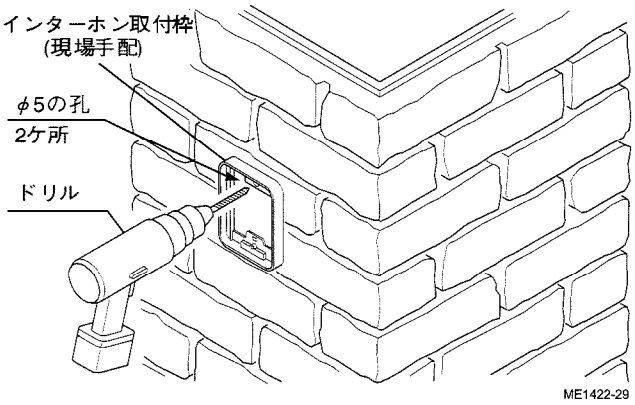
●「JIS1個用スイッチボックス対応品(露出型)」のインターホン(市販品)を現場手配してください。

4−1 直付けインターホン

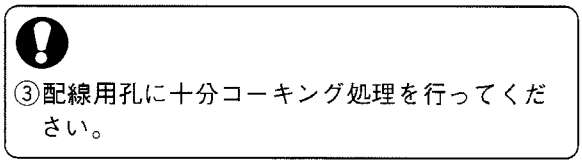
×	コバ積み調	○	レンガ調

①インターホン取付枠の取付孔を利用して、門柱本体にφ5の孔を2ケ所あけてください。

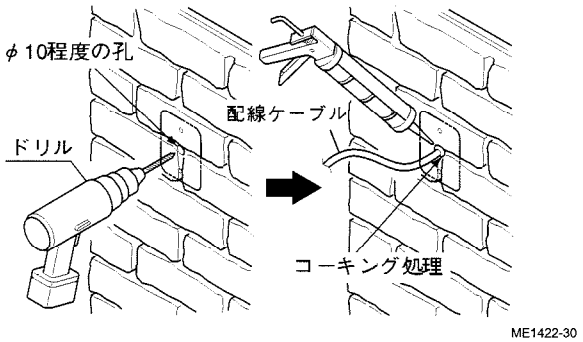




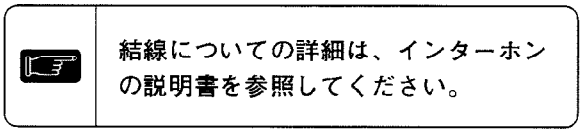
②右図の位置にφ10程度の配線用孔をあけて、配線ケーブルを引出してください。



③配線用孔に十分コーキング処理を行ってください。

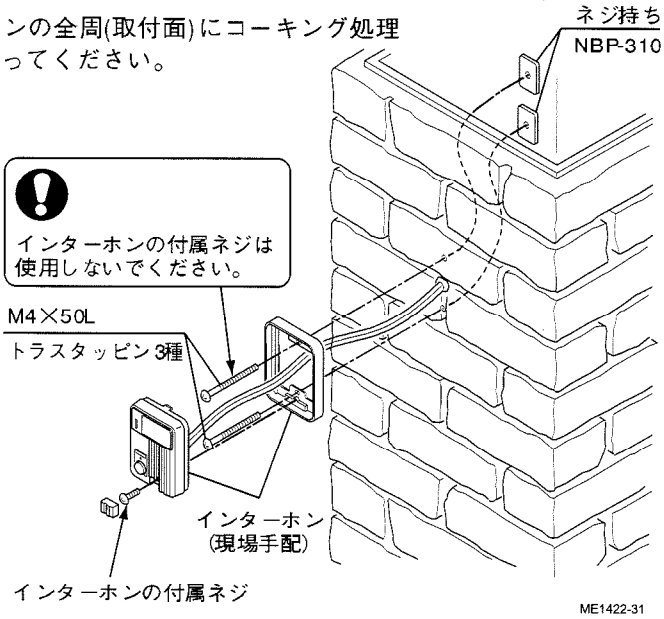


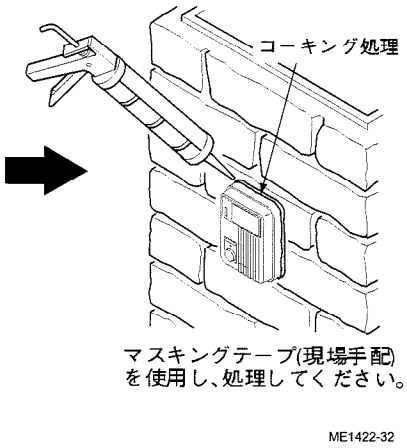
④ネジ持ちを使用して、インターホン子機(現場手配)を門柱本体に取付け、結線してください。



結線についての詳細は、インターホンの説明書を参照してください。

⑤インターホンの全周(取付面)にコーキング処理を十分に行ってください。





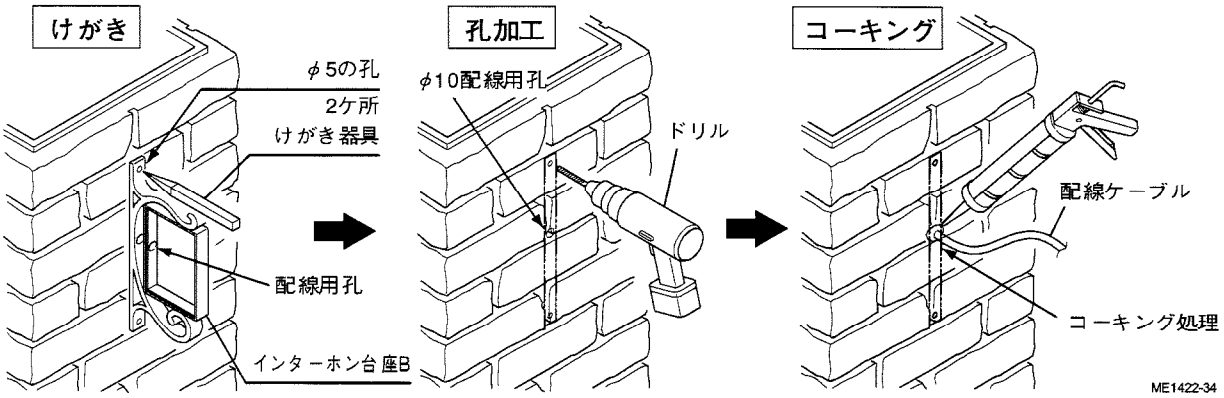
4−2 横付けインターホン

×	コバ積み調	○	レンガ調

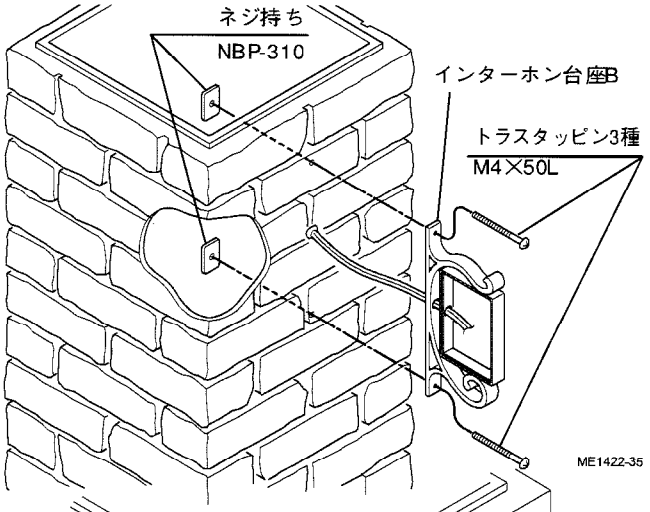
①インターホン台座Bの取付孔を利用して、φ5の孔を2ケ所あけてください。

②右図の配線用孔位置をけがき、φ10程度の孔をあけてください。

③配線ケーブルを引出して、配線用孔に十分コーキング処理を行ってください。



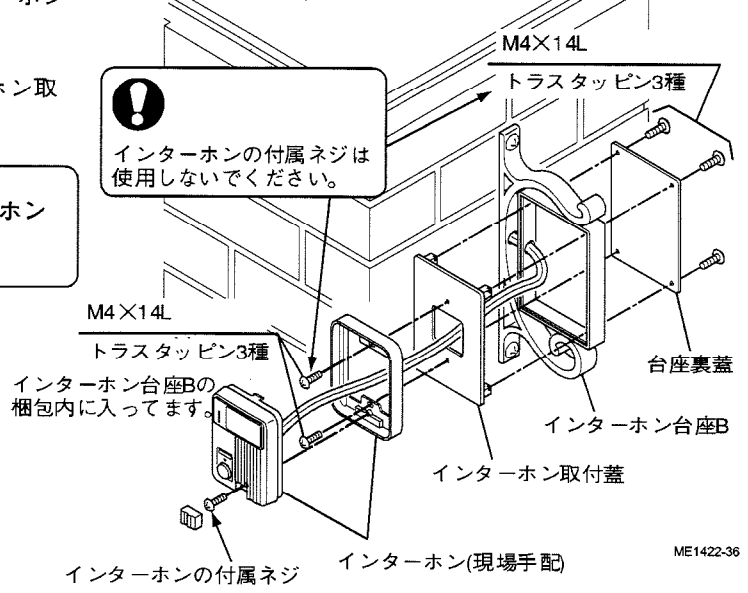
④ネジ持ちを使用して、インターホン台座Bを門柱本体に取付けてください。



⑤インターホン取付蓋と台座裏蓋をインターホン台座Bに取付けてください。

⑥インターホン子機(現場手配)をインターホン取付蓋に取付け、結線してください。

結線についての詳細は、インターホンの説明書を参照してください。



5 照明の取付け

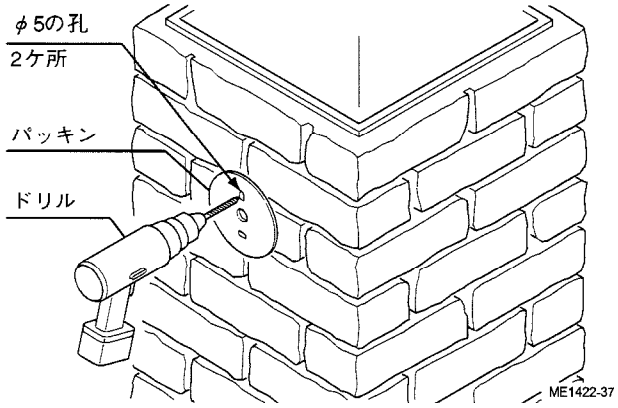
●正面付き照明の場合は、門柱本体に取付けてください。
●上置き照明の場合は、笠木に取付けてください。

5－1 正面付き照明(ブラケット灯)

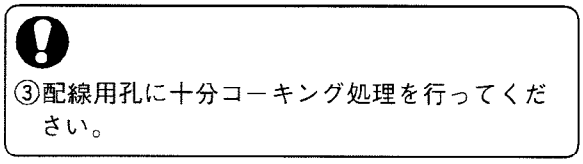
○	コバ積み調	○	レンガ調

●LB3型

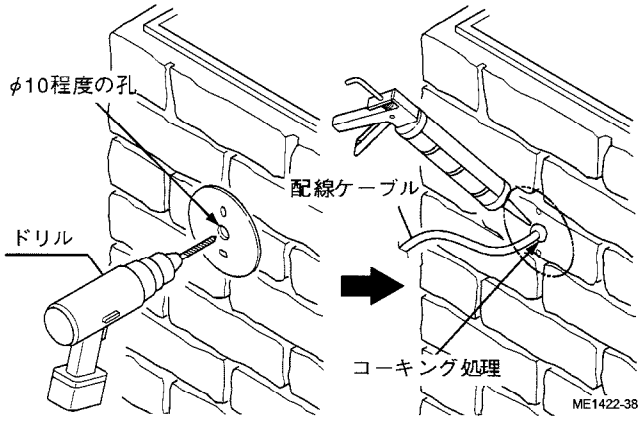
①パッキンの孔を利用して、φ5の孔を2ケ所あけてください。



②右図の位置にφ10程度の配線用孔をあけて、配線ケーブルを引出してください。



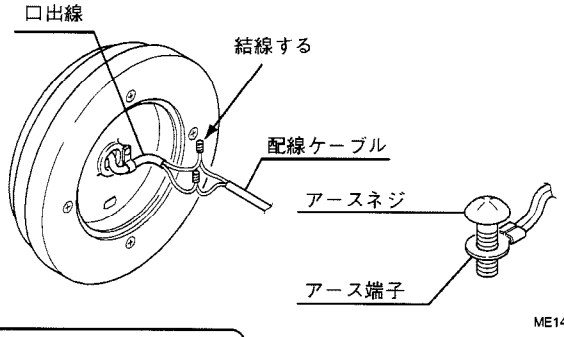
③配線用孔に十分コーキング処理を行ってください。



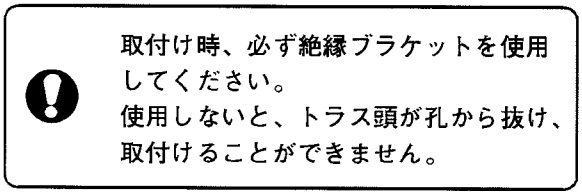
④配線ケーブルの被覆をむいて、口出線と接続してください。

⚠注意

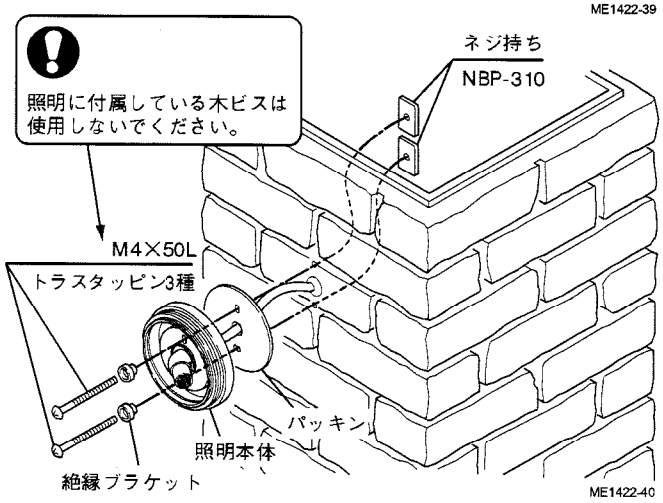
その際、D種(第三種)接地工事を施してください。不良の場合、感電や漏電の原因となります。



⑤ネジ持ちを使用して、照明本体とパッキンを門柱本体に取付けてください。



取付け時、必ず絶縁ブラケットを使用してください。
使用しないと、トラス頭が孔から抜け、取付けることができません。



⑥電球をソケットに合わせてねじ込んでください。

⚠注意

電球は乱暴に扱わないでください。
電球が割れてケガをする恐れがあります。

⑦グローブにグローブパッキンを合わせて照明本体にねじ込んでください。

⚠注意

- **グローブは必要以上に締め込まないでください。ガラスグローブが割れる恐れがあります。**
- **グローブにヒビが入っていたり、一部がかけている場合には、ただちに新しいグローブと交換してください。**
  グローブの破損や落下の原因となります。

⑧フード内側のボスを照明本体の切り込みに合わせ押し込み、回転してフードの方向を合わせて取付ネジで固定してください。

⑨照明本体の全周（取付面）に十分コーキング処理を行ってください。

5－2 上置き照明

○	コバ積み調	○	レンガ調

●LB5型

①照明取付板の取付孔を利用して、φ5の孔を2ケ所あけてください。

⚠注意

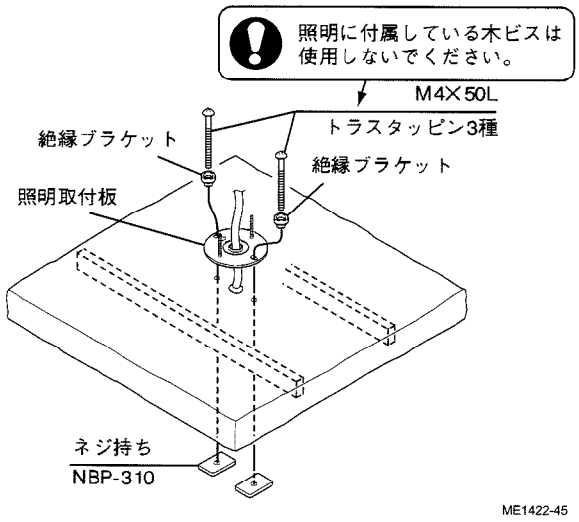
笠木の内部には補強板があります。
この補強板を避けて孔加工してください。

②右図の位置にφ10程度の配線用孔をあけて、配線ケーブルを引出してください。

③配線用孔に十分コーキング処理を行ってください。

④ネジ持ちを使用して、照明取付板を笠木に取付けてください。

取付け時、必ず絶縁ブラケットを使用してください。
使用しないと、トラス頭が孔から抜け、取付けることができません。

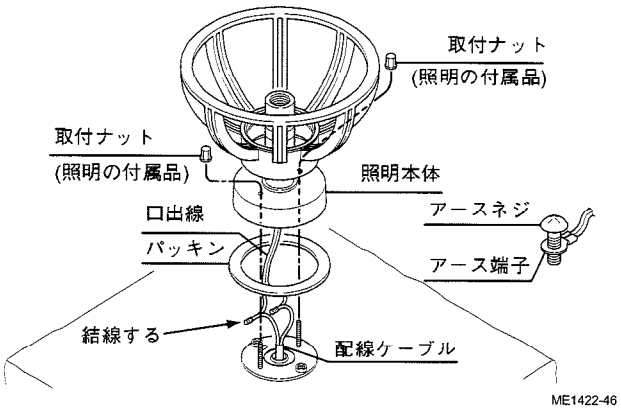


⑤配線ケーブルの被覆をむいて、口出線と接続してください。

⚠注意

その際、D種(第三種)接地工事を施してください。
不良の場合、感電や漏電の原因となります。

⑥照明本体を取付ナット(2個)で確実に固定してください。



⑦ランプをソケットに合わせてねじ込んでください。

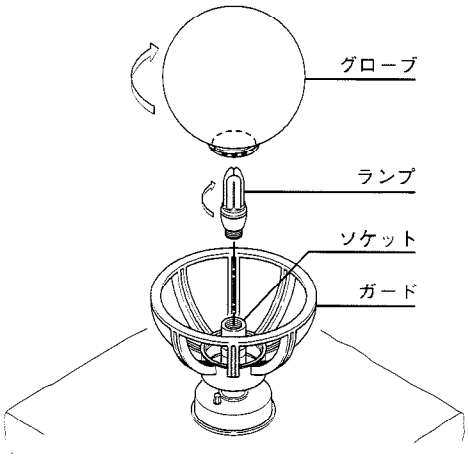
⚠注意

ランプは乱暴に扱わないでください。
ランプが割れてケガをする恐れがあります。

⑧グローブを両手で押えてガードのネジに合わせてねじ込んでください。

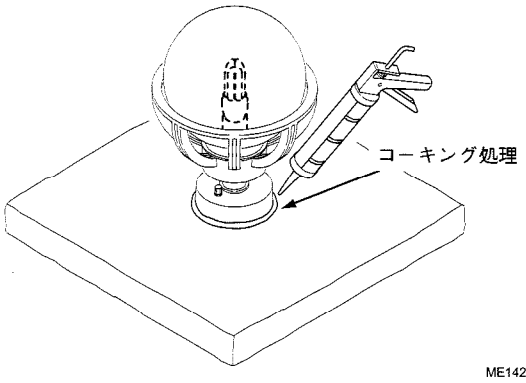
⚠注意

- **グローブは必要以上に締め込まないでください。ガラスグローブが割れる恐れがあります。**
- **グローブにヒビが入っていたり、一部がかけている場合には、ただちに新しいグローブと交換してください。**
  グローブの破損や落下の原因となります。



!

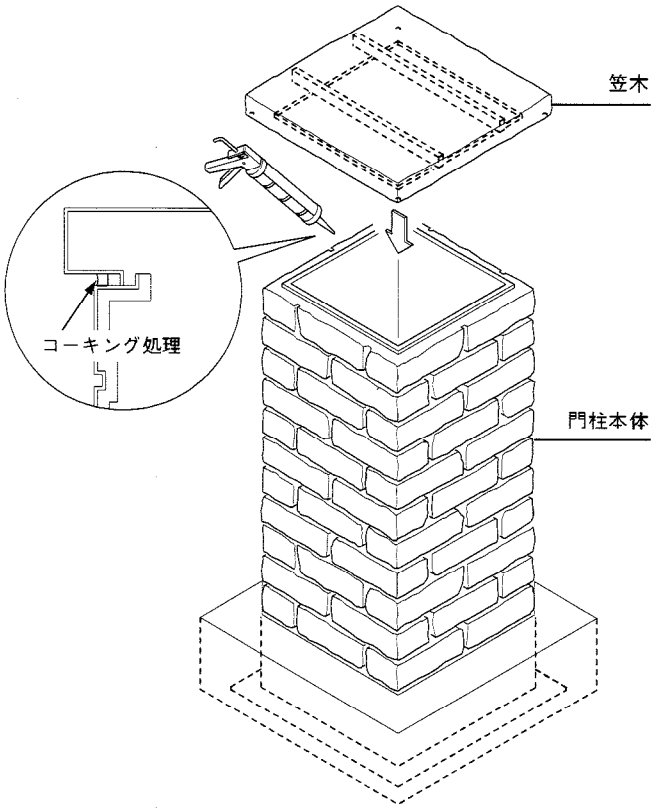
⑨照明本体の全周(取付面)に十分コーキング処理を行ってください。



6 笠木の取付け

①別売部品が全て取付いているかを確認してください。
②門柱本体に笠木を取付け、各部品(インターホン・照明等)が作動するかを確認してください。
③門柱本体と笠木のすき間にコーキング処理を行ってください。

部品が全て取付いていない場合は、コーキング処理をしないでください。後で取付ける部品は、コーキングされていると取付けることができない場合があります。



施工工事店様、販売店様へのお願い

―お願い―
この説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施工完了日	年　月　日
施工工事店	TEL（　　）　―
販売店	TEL（　　）　―
商品名	
その他	